

ず～むあっぴ☆

オホーツク

2018年

11月号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

日本百名山の1つ、斜里岳

スマート農業で効率化・安定生産を実現

GPS自動操舵システムを活用した秋まき小麦の播種（斜里町）

斜里町では小麦、てん菜。ばれいしょの畑作3品を主とした家族経営が中心で、経営規模の平均は約40ヘクタール。同町では、今後の更なる規模拡大、労働力の軽減を見据え、トラクターのGPS自動操舵システムによるスマート農業の導入を進めています。

GPS自動操舵システムは、人工衛星からの位置情報を受信し走行しますが、これにRTK基地局からの位置補正データを受信したスマートフォンと接続することで、ほとんど誤差なく位置情報を把握することができます。これにより、トラクターの作業ストレスの軽減をはじめ、経営主以外の家族でも作業ができることや、同じ圃場データを複数のトラクターに登録することで、どのトラクターも全く同じラインで耕起、整地、播種・移植などの作業を同時に行うこともできるため、適期作業、品質や収量の安定化に貢献しています。



整地と播種の同時作業。蛇行のない一直線の走行ライン

トラクターの運転席を見せていただきました！



ステアリングが小刻みに進路を調整しトラクターは一直線に進みます。

この日は、石川秀一さんの圃場を見学させていただきました。

石川さんのトラクターの屋根にはお掃除ロボットのようなアンテナ、運転席にはガイダンスシステム（兼モニター）とスマートフォンの姿が。そしてステアリングは自動で動いています。

補正データを受信するスマートフォンの画面は、すごい勢いでデータ文字列がスクロールしていて、通信技術の進歩を実感しました。

オホーツク農業祭2018に出展しました

10月13日（土） サンドーム北見

10月13日（土）、オホーツク農協青年部協議会が主催する「オホーツク農業祭2018」が開催されました。

このイベントは、オホーツク産の農畜産物の販売・PRや農業者と消費者の交流を目的に開催されています。

この日、北海道農政事務所北見地域拠点では、体験イベントとして「搾乳体験」を出展しました。会場全体が大盛況となるなか、当ブースについても長蛇の列ができるなど大変好評でした。



大盛況の会場

《搾乳体験ブース》



出番を待つ牛さん



順番を待つ子どもたち



楽しく体験中

平成30年度オホーツク管内高付加価値化研修会 「商品クレーム対応と対策～はじめよう衛生管理計画」のご案内

消費者の「食の安心・安全」に対する意識は年々高まっています。研修会では、「商品クレーム」とはどのようなものか、クレームへの対応方法や現場改善のポイントを講演とワークショップで学びます。また、HACCPとは何か、何をしなければならないのか、改正のポイントを学びながら、一緒に対応方法を考えてみませんか？

日時 平成30年11月28日（水）13：20～16：10（個別相談会～16：40）

場所 網走農業改良普及センター2階大会議室（北見市大正320番地8）

問い合わせ先 網走農業改良普及センター

電話 0157-36-1421 FAX 0157-36-0016

対象 高付加価値化や6次産業化に関わる農業者、市町村、JA、食品関連事業者等
参加費 無料

編集後記

グローブを新調し野球シーズンに向け順調に仕上げていた今年の春、気がつけば北見の地に。でも前任地での昼野球にすっかり慣れてしまいもはや朝野球などやる気ゼロ。今やすっかり運動不足となってしまう自転車通勤最後の関門の坂道が辛い。そろそろ電動アシスト自転車が必要かもしれない。（す）

編集：農林水産省北海道農政事務所 北見地域拠点
〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎
TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358
北見支局HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>